

—— 特 記 仕 様 書 ——

本工事を進めるにあたり、以下の事項を厳守してください。但し、監督員が認める場合はこの限りではありません。

- 1 着工にあたり、地元区長、土地改良区等、関係機関と事前協議を行うこと。
- 2 地元、隣接する地権者等に対しては、誠意をもって対応し、トラブルのないように進めること。
また、現場に従事する全作業員にも、新規入場者教育等を通じて徹底させること。
- 3 地元説明用資料(工程他)については、契約後速やかに作成し、遅くとも工事着手予定日の1週間程度前には、工事の旨を関係者に周知すること。
- 4 施工計画書、各段階における施工協議書、80%出来形図等の各種提出書類は、それぞれの提出時期において速やかに提出すること。
- 5 通行制限願申請書及び道路使用許可申請書は、申請時期の2週間前までに提出をすること。また工程の遅れ等により期間を延長する際にも、期限前2週間前までに手続きを済ませること。
- 6 施工段階における変更事項・協議事項は、内容の如何に関わらず、必ず発注者と事前協議を行うこと。受注者独自の判断により協議を行わないで工事を進め、事後協議により変更を願い出る場合は、原則として認可しないこととする。(施工の手直しを指示することもある)
- 7 コスト縮減への提案・取組み、環境問題への取組み(建設廃棄物の発生抑制、再生利用等減量化)に努めること。
- 8 建設副産物の処理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき適正処理が図られること。
また、最終引受場所、適正処理を証明する書類及び処分量について報告すること。
なお、廃棄物の運搬にあたっては飛散防止策を講じること。
- 9 建設副産物発生量・再使用量の報告については、長野県の「建設副産物実態調査」の様式である「再生資源利用[促進](計画・実施)書」により提出すること。
- 10 その他共通事項については、最新の、土木工事現場必携、土木工事共通仕様書ほか基準図書に従って進めること。
- 11 本工事は発注者指定型週休2日工事の対象工事であり、「中野市週休2日工事実施要領」に従い取り組むものとする。
- 12 舗装修繕工事に伴い、上下水道施設等の鉄蓋の高さ調整が必要な場合は、上下水道課等と協議の上、別途工事にて高さ調整を行うこと。
- 13 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。受注者は、保険契約の証券又はこれに代わるものを監督員に提示することとする。
- 14 埋蔵文化財宝蔵地内(東池田窯跡)の工事であり、中野市教育委員会生涯学習課の立会等が行われる際には、工程・施工について協力をする事。

路上路盤再生工 特記仕様書

- 1 この特記仕様書は下記の工事に適用する。
 事業名： 令和6年度防災・安全交付金事業市道草間栗林線舗装修繕工事（繰越明許）
 箇所名： 市道草間栗林線 中野市大字草間
- 2 本仕様書に規定されない事項については、舗装再生便覧（日本道路協会）による。
- 3 路上路盤再生工法は、路上再生セメント・アスファルト乳剤安定処理工とし、路上において路上路盤再生用添加剤と既設路盤材を共に混合し、締め固めて安定処理した路盤を新たに構築するものである。
- 4 路上路盤再生用添加剤の使用率は、セメント系固化材2.5%、アスファルト乳剤5.0%を想定している。
- 5 安定処理厚10cmの場合、添加剤の添加量100㎡当りセメント固化材535kg、アスファルト乳剤＝1081kgを標準とするが、施工前に既設路盤材を採取し、配合設計を実施して、アスファルト乳剤の添加量及びCAE一軸圧縮試験の基準を満足するセメント量を決定し監督員の承認を得るものとする。
- 6 配合設計の段階で溶出試験を実施すること。（環境庁告示46号溶出試験）
- 7 算出式は下記の通りとする。

路上路盤再生工 設計路盤厚 $t = 0.10 \text{ m}$

添加セメント量算出式（100㎡当り）

$$\begin{array}{rcl}
 \text{面積} \times \text{設計厚} \times \text{設計密度} \times \text{設計セメント量} \times \text{ロス率} & = & 100\text{㎡当り使用料} \\
 100 \text{ m}^2 \times 0.10 \text{ m} \times 2.1 \text{ t/m}^3 \times 2.5\% \times 1.02 & = & 0.53550 \text{ t/m}^2 \\
 & & \text{セメント添加剤数量} \\
 & & 535 \text{ kg/m}^2
 \end{array}$$

混合用乳剤添加量算出式（100㎡当り）

$$\begin{array}{rcl}
 \text{面積} \times \text{設計厚} \times \text{設計密度} \times \text{設計乳剤量} \times \text{ロス率} & = & 100\text{㎡当り使用料} \\
 100 \text{ m}^2 \times 0.10 \text{ m} \times 2.1 \text{ t/m}^3 \times 5.0\% \times 1.03 & = & 1.08150 \text{ t/m}^2 \\
 & & \text{混合用乳剤数量} \\
 & & 1081 \text{ L/m}^2 \\
 & & ※\text{L換算}
 \end{array}$$